2022年度
環境経営レポート

活動期間（2022年5月～2023年4月）

株式会社　稲垣工業

https://www.inagaki-net.com

作成：2023年6月30日

エコアクション21
認証番号0003241

ご挨拶

株式会社　稲垣工業は、昭和52年創業以来、溶接、板金を主体として歩んでまいりました。
近年の状況として環境にやさしい物づくりが、世界で注目されています。稲垣工業でも、遅ればせながら環境というものに注目しました。
そこで企業から出る環境負荷を知り、これではお客様、世界のニーズに対応しきれないことを知り、エコアクション21を推進していくことにしました。
それに伴い環境経営方針の作成、方針を基に環境活動の展開、実行を進めていき環境負荷への低減を考え地球環境を考えた企業にするため、新たな一歩を歩みだしました。

以下、「環境経営レポート」としての取り組みをまとめましたので、私たちの取り組みをご高覧の上、ご指導、ご指摘をいただき次の環境活動に生かして行きたいと存じます。

≪目次≫

Ⅰ．　環境経営方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　P-3

Ⅱ．　当社の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　P-4

Ⅲ．　環境管理体制と役割 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　P-5

Ⅳ．　環境負荷の実績 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　P-6

Ⅴ．　環境経営目標とその実績 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　P-7

Ⅵ．　環境経営活動の取組計画と評価及び次年度の取組 ・・・・　P-8～9

Ⅶ．　環境関連法規制の遵守状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・　P-10

Ⅷ．　代表者による全体の評価と見直しの結果 ・・・・・・・・・　P-11

Ⅰ．環境経営方針

経営理念

技術の追及　　利益の追及　　社員の幸福　　社会への貢献

基本方針

環境保全・品質活動を推進するにあたり、以下に主な活動項目を掲げ取り組みます。

1、当社の事業活動において発生する環境負荷の低減。

①電力　　②化石燃料　　③廃棄物　　④水

2、資源のリサイクル活動への徹底。

3、不良率を低減します。

4、2S(整理・整頓）の徹底をはかります。

5、環境経営方針を社長が全社員に周知すると共に法律規則を順守します。

プロセス

この環境経営活動は、当社の企業理念のプロセスである　実行、スピード、

継続、やさしさをもって環境保全活動を推進します。

2022年 5 月 1 日

株式会社　稲垣工業

代表取締役社長

稲垣　和彦

Ⅱ．当社の概要

1.　事業者及び代表者名

株式会社　稲垣工業

代表取締役　稲垣　和彦

2.　所在地

〒379-2311

群馬県みどり市笠懸町阿左美1949-9

3.　環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

最高責任者:	取締役会長	稲垣　光孝
環境管理責任者:	代表取締役	稲垣　和彦
担当:	EA21推進事務局	田島浩愉樹 関口友紀子
連絡先:	TEL　0277-76-5739	
	FAX　0277-76-1230	

4.　対象範囲

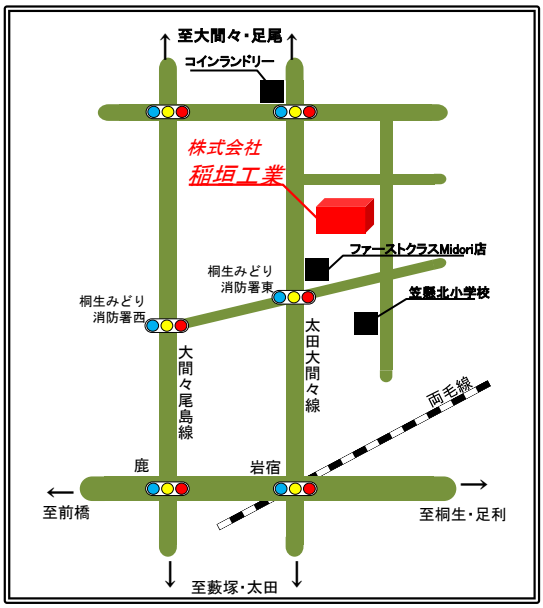
精密板金（金属の板金加工・溶接）

5.　事業の規模

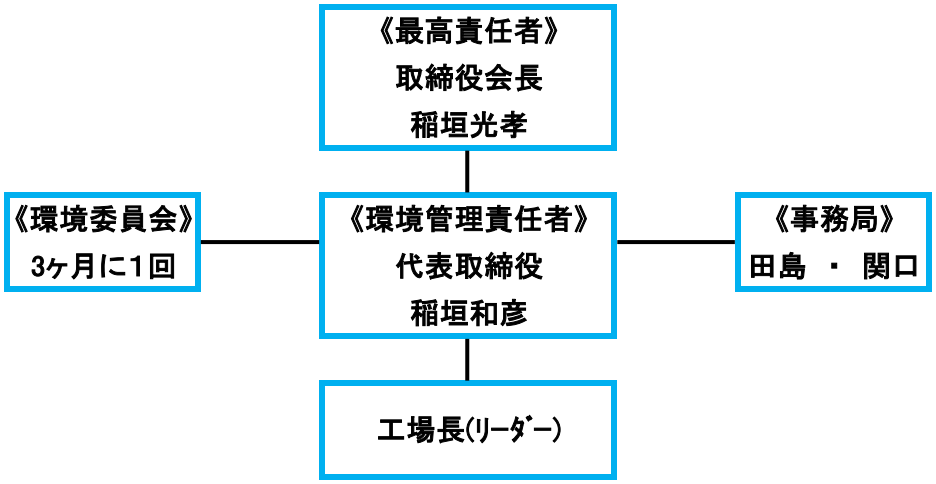
資本金	1,000万円
従業員計	30名
敷地面積	3,712㎡
建築面積	2,355㎡

（S52年創業）

アクセス地図



Ⅲ．環境管理体制と役割

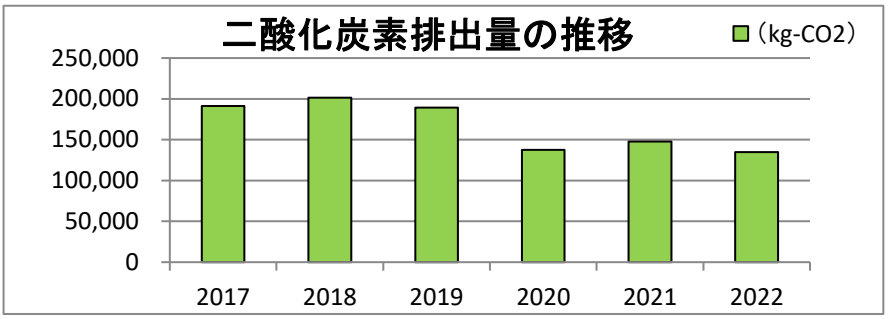


役割と責任	
職名	**役割**
最高責任者	***取締役会長*** ① 環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。該当責任者には現在の職務にかかわりなく兼任で責任と権限を明示する。 ② ｴｺｱｸｼｮﾝ21の構築・運用・維持に必要な経営処資源(人・資金・機器設備・技術技能を含む)を準備する。 ③ 環境方針を制定する。 ④ ｴｺｱｸｼｮﾝ21の構築・運用に関する情報を収集、環境方針・環境目標をはじめｼｽﾃﾑ全体の見直しを行い、必要に応じ改定を指示する。
環境管理責任者	***代表取締役*** ① ｴｺｱｸｼｮﾝ21に関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を図り、目的を達成するために環境委員会を運営する。 ② ｴｺｱｸｼｮﾝ21の構築・運用を円滑に行い、最高責任者による見直しの為の情報として、構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する。
工場長 (ﾘｰﾀﾞｰ)	① 製造部門に対し、ｴｺｱｸｼｮﾝ21の構築・運用・維持に必要な情報等を伝達・指示し、円滑な運営をｻﾎﾟｰﾄする。 ② 会社全体の環境情報を全部門に報告する。
事務局	① 事務局として、環境管理責任者を補佐し、ｴｺｱｸｼｮﾝ21活動全般を所管する。
環境委員会	① 最高責任者・環境管理責任者・事務局で構成する。3ヶ月に1回環境管理責任者が招集する。 環境目標の設定、環境活動計画の策定及び進捗管理について協議する。環境管理責任者が必要と認めた物は出席することができる。

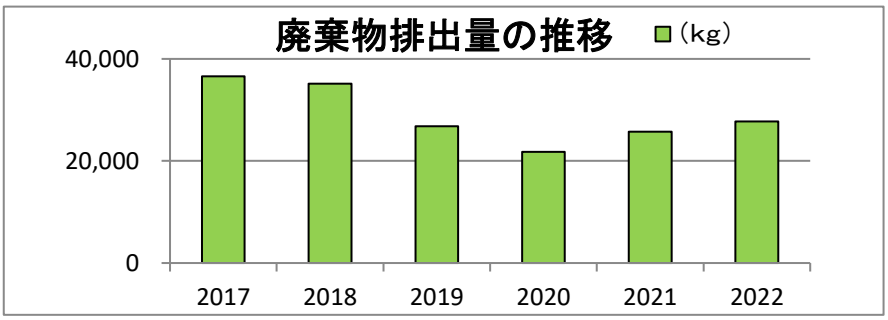
Ⅳ．環境負荷の実績

二酸化炭素排出量（kg-CO_2）	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	191,462	201,387	189,398	137,606	147,717	134,964

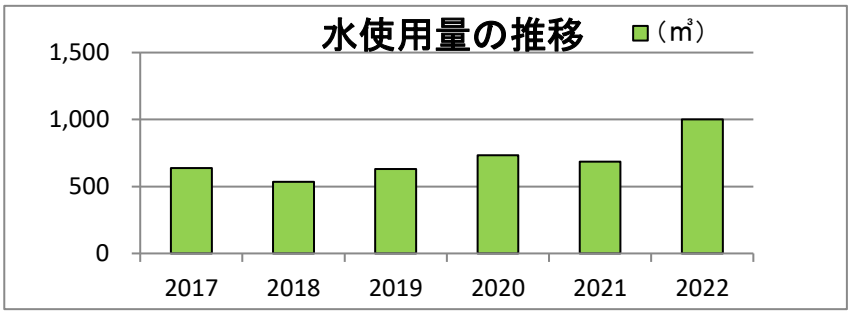
※購入電力の排出係数は東京電力の0.441(kg-CO_2/kwh)を使用しています。



廃棄物排出量（kg）	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	36,591	35,175	26,775	21,795	25,739	27,719



水使用量（㎥）	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	636.5	535.5	630.5	733.5	685.5	1001



Ⅴ．環境経営目標とその実績

レポート対象期間（2022年度）の目標・実績 、次年度以降の中長期目標

環境目的項目（売上高100万円当り）		取組み項目	基準年 2021年度	2022年度 目標	2022年度 実績	評価	2023年度目標	2024年度目標	2025年度目標
1	二酸化炭素排出量の削減	電力の削減 kwh/百万円	853.0	2021年度の1%削減 844.5	714.0	○	2022年度の 844.7	2022年度の 835.9	2022年度の 835.9
		ガソリン使用の削減 ℓ/百万円	12.3	2021年度の1%削減 12.2	13.1	×	2022年度の 12.2	2022年度の 12.1	2022年度の 12.1
		軽油使用の削減 ℓ/百万円	8.1	2021年度の1%削減 8.0	8.1	×	2022年度の 8.0	2022年度の 7.9	2022年度の 7.9
		灯油使用の削減 ℓ/百万円	31	2021年度の1%削減 30.7	25.7	○	2022年度の 30.7	2022年度の 30.4	2022年度の 30.4
		二酸化炭素排出量 kg/百万円	510.2	2021年度の1%削減 505.1	435.3	○	2022年度の 505.1	2022年度の 500.0	2022年度の 500.0
2	廃棄物の削減	廃油・金属くずの削減 kg/百万円	87.7	2021年度の1%削減 86.8	89.4	×	2022年度の 86.8	2022年度の 85.9	2022年度の 85.9
3	従業員一人当り総排水量の削減	水使用量の削減 ㎥/人数	22.9	2021年度の1%削減 22.8	36.3	×	2022年度の 22.7	2022年度の 22.4	2022年度の 22.4
4	化学物質使用の管理の徹底	ｼﾝﾅｰ使用量の把握		使用量の把握管理の徹底	使用量の把握管理の徹底	○	使用量の把握管理の徹底	使用量の把握管理の徹底	使用量の把握管理の徹底
5	業務活動の効率化の推進	①ﾚｰｻﾞｰ・複合機稼働率時間の向上 ②工程の改善 ③不良品の削減 ④配送ルートの効率化 ⑤梱包の簡易化、無包装		環境負荷低減活動	推進できました	○	環境負荷低減活動	環境負荷低減活動	環境負荷低減活動

Ⅵ. 環境経営計画の取組と評価・次年度の取組

二酸化炭素排出量の削減

電力の削減

取組計画

『目標達成手段』

①ｴｱｺﾝの清掃

②ｴｱｺﾝの省ｴﾈ運転及び設定温度の徹底

・夏(冷房) 28℃以上　・冬(暖房) 20℃以下

③ﾃﾞﾏﾝﾄﾞ監視装置の管理(節電ﾊﾟﾄﾛｰﾙ)

④休憩時の消灯

⑤ｴﾈﾙｷﾞｰｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ会議の実施

⑥3台のﾚｰｻﾞｰ関連設備の効率的な運用を目指す

⑦ﾄｲﾚの自動消灯ｾﾝｻｰ設置

取組結果の評価

休憩時、不使用時の消灯は浸透、定着している

CO2ﾚｰｻﾞｰからﾌｧｲﾊﾞｰﾚｰｻﾞｰへの入れ替えでの電力削減

次年度取り組み

✔生産性向上による残業時間の削減等
電力使用量を抑えた運用を目指す。

自動車燃料使用の削減

取組計画

『目標達成手段』

①ｴｺﾄﾞﾗｲﾌﾞ(低燃費走行)の実施

②定期的な整備・点検の実施

③車両の燃料使用量と走行距離のﾁｪｯｸ

取組結果の評価

短納期注文が多くそれに伴う処理出しも多く、
結果細かな配送が多く使用量の増加

次年度取り組み

✔来年度も車の選定を上手く使い分けたり、
ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄ車(ｴｺｶｰ)への切り替えを検討。

灯油使用の削減

取組計画

『目標達成手段』

①早めの利用停止・・時間外労働の減少

②ｽﾄｰﾌﾞ等、定期的な整備・清掃の実施

③ｽﾄｰﾌﾞ等、使用開始、終了時期のﾒﾘﾊﾘ

取組結果の評価

離席時の各自のｽﾄｰﾌﾞのｵﾝ・ｵﾌの徹底が
使用量の削減に繋がった

次年度取り組み

✔使用開始、離席時、終了時のｵﾝ・ｵﾌの定着での
削減を目指す。

Ⅵ. 環境経営計画の取組と評価・次年度の取組

廃棄物の削減

取組計画

『目標達成手段』

①分別徹底の継続　②端材の有効活用

③不良の削減　④歩留まり率の向上

取組結果の評価

少量単品仕事が多く材料の歩留まり率は悪い

また、急ぎ仕事による確認不足等不良の発生確率も高い

次年度取り組み

✔不良の削減に継続的に取り組み、廃棄物を減らす。

水使用量の削減

取組計画

『目標達成手段』

①小まめな開閉　②節水ﾊﾝﾄﾞﾙ(ﾚﾊﾞｰ)の設置

③節水表示等による啓蒙活動

取組結果の評価

実習生の生活排水に因る部分が多く、人数の増加により

使用量が大幅に増えてしまった。

次年度取り組み

✔実習生だけでなく、社員一同に節水を指導する。

化学物質使用の管理徹底

取組計画

『目標達成手段』

①整理、整頓

②使用量の把握

③管理ﾙｰﾙの確立

取組結果の評価

毎月のｼﾝﾅｰの使用量の把握。

又含まれる化学物質の量も把握。

次年度取り組み

✔ｼﾝﾅｰの管理ﾙｰﾙの確立。

※使用後は必ず蓋をする・・(表示,月1回の確認!!)

業務活動の効率化の推進

取組計画

『目標達成手段』

①廃棄物の削減と合わせて不良の削減の徹底

② ﾚｰｻﾞｰ,複合機,ﾊﾞﾘ取り機,ﾍﾞﾝﾀﾞｰの稼働率の向上

③梱包は製品に応じて行い、簡略化に心がける

④配送ﾙｰﾄの検討,配送用ﾊﾟﾚｯﾄの改善

取組結果の評価

環境への配慮や電力使用量、燃料使用量など見える化を

通して環境保全への取組意識が向上した。

次年度取り組み

✔業務活動における廃棄物の削減、二酸化炭素の排出量の削減を目指す

Ⅶ. 環境関連法規制の遵守状況

（1） 当社に適用となる主な環境関連法規

法規制等の名称	当社の対応	遵守状況
浄化槽法	・毎年1回11条検査を受ける ・年4回の定期点検	遵法
騒音規制法	・届出 ・規制基準の遵守	遵法
振動規制法	・届出 ・規制基準の遵守	遵法
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	・委託契約 ・ﾏﾆﾌｪｽﾄの管理 ・産業廃棄物管理票交付等状況報告書	遵法
労働安全衛生法	・安全委員会の設置 ・作業主任者の選任	遵法
消防法	・届出(火災報知器設置,定期点検) ・貯蔵及び取り扱い	遵法
ﾌﾛﾝ排出抑制法	・簡易点検の実施(4回/年)	遵法

（2） 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

2023年5月1日の環境関連法規遵守状況の確認において、環境関連法規への違反はありません。

又、過去3年間、関係当局よりの違反等の指摘もありません。

Ⅷ．代表者による全体の評価と見直しの結果

電力、灯油において、目標達成出来た。軽油は変わらず。ガソリン、廃棄物は増加、水は大幅増加で目標達成出来なかった。電力については、レーザー・パンチ複合機を入れ替えたことにより、CO2レーザーからファイバーレーザーになったことで大幅な電力削減になったと思われる。よって、トータルとしての二酸化炭素の排出量を減らすことが出来た。ガソリンについては、弊社の特徴である単品・短納期の注文が多く、納品はもちろん、それに伴う処理出し等もあって、結果、細かな配送が多く、使用量が増えてしまったと思う。廃棄物についても少量単品仕事が多く、材料の歩留り率は悪い。また、急ぎ仕事による確認不足等・・・不良の発生率も高くなっているかもしれない。不良・不具合品については無くなる様に改善していきたい！！　水については、実習生の生活水に因る部分が多く、今年度は、人数増員により使用量が大幅に増えてしまった・・。灯油の使用量が減っているのは、温暖化等気候変動の影響があるかもしれない。今後、夏場のエアコン、機械のチラー、コンプレッサー等は、電力使用量に影響してくるだろう・・。特にレーザー加工機、レーザー・パンチ複合機、YAGレーザー溶接機と、電力使用量の多い設備を保有する為、引き続き、効率よい稼働を心掛ける。新型コロナウイルスの影響からは徐々に回復傾向で、売り上げも戻ってきているが、まだまだ部品調達難、材料はじめ、電気、レーザー・溶接ガス代、機械工具等々の値上げ、円安・・・など課題は山積みであるが、その辺がどのように影響し、仕事の回復具合で使用量、売り上げにどう変化が出てくるかをうまく見極めていき、途中で目標値の見直し等も行いながら、最終的に目標達成となる様に環境活動と、本業と合わせて、従業員全員で取り組んで行く。

株式会社　稲垣工業

代表取締役　稲垣 和彦